

セッション I (研究報告)

【第1日目】2024年9月6日(金) 9:30~11:30

経済と金融 L401	中山間地域と産業 L408	子ども L409	人口 L410	DX L411
座長： 川瀬晃弘（東洋大学） 石橋健一（愛知学院大学）	座長： 高田剛司（立命館大学） 松下愛（長崎県立大学）	座長： 大崎裕子（立教大学） 松村智史（名古屋市立大学）	座長： 岡田英幸（名古屋市立大学） 秀島栄三（名古屋工業大学）	座長： 味水佑毅（流通経済大学） 吉村輝彦（日本福祉大学）
1 我が国における消費税の逆進性緩和策に関する検討-モンゴルのEBarimtを参考にして-	中山間地域における移住者の実態と移住支援に関する研究 -和歌山県紀美野町における移住者へのインタビュー調査を事例に-	子育て中の保護者の負担感と施策の利用状況に関する一考察：名古屋市を事例として	深層学習を用いた地物分布の推移に基づく人口変動予測に関する考察	計画論の視座からのデジタル技術の社会実証・実装事業の課題の検討
○谷川喜美江（千葉商科大学）、○Tserendorj Ariunsaikhan（Prosolutions TIN LLC）、○榎岡源一郎（千葉商科大学）	○園諸栄（追手門学院大学大学院D3）	松村智史（名古屋市立大学）、○原田峻平（名古屋市立大学）	○春日井智尋（名古屋工業大学大学院M1）、山下昇真（国土交通省関東地方整備局）、秀島栄三（名古屋工業大学大学院教授）	○畑正夫（神戸国際大学）
2 「抗議」からみる国際開発金融機関の動態—ADB・世界銀行の環境・社会セーフガード政策の変遷と今後の展望—	現代における食料自給率と食糧安全保障の課題について	子どもの非認知能力と体験——自治体アンケート調査と行政データを活用して	地域間の人口移動意思決定プロセスの分析	電子政府政策における施策の目標年限
○玉村優奈（東京大学大学院D2）	○松下愛（長崎県立大学）	○平田誠一郎（豊中市都市経営部とよな都市創造研究所）	○石原知歩（芝浦工業大学大学院M1）、藤田楓（芝浦工業大学大学院D2）、市川学（芝浦工業大学）	○本田正美（関東学院大学）
3	農山村—都市の関係における荒茶の流通構造の実態と展望—旧静岡市域を対象と	日本の結婚・出産意欲に関する研究動向	小学校統廃合後における学区内の人口動態に関する分析～茨城県を対象にして～	
	○長縄海広（水産庁）	○長田桃子（芝浦工業大学大学院M2）、藤田楓（芝浦工業大学大学院D2）、市川学（芝浦工業大学）	○酒井佑（筑波大学大学院M1）、川島宏一（筑波大学）	
4	日本農業における担い手問題の解決に向けた研究動向			
	○片山陽和太（芝浦工業大学大学院M2）、藤田楓（芝浦工業大学大学院D2）、市川学（芝浦工業大学）			

注1：○は報告者、下線は優秀発表賞候補者。

注2：時間管理は以下のとおり。

・研究報告：30分（報告：15分 質疑応答：12分 交代：3分）

セッションII (研究報告/ワークショップ)

【第2日目】2024年9月7日(土) 8:45~10:15

	ワークショップ L401	環境政策 L408	産学官連携 L409	地域と自治 L410	EBPM L411
	ファシリテーター： 山本佳世子 (電気通信大学)	座長： 錦澤滋雄 (東京工業大学) 鵜飼修 (滋賀県立大学)	座長： 佐々木秀之 (宮城大学) 西川雅史 (青山学院大学)	座長： 竹内彩乃 (東邦大学) 藤木秀明 (日本大学)	座長： 徳永達己 (拓殖大学) 市川学 (芝浦工業大学)
1		環境保全型農業におけるカーボンニュートラルへの方向性に関する一考察	自治体と大学の連携による起業家育成事業に関する比較考察-吹田市の「市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業」を事例に-	外国人非集住地区の自治体における多文化共生施策の推進について-愛知県長久手市の事例をもとに-	東京都足立区におけるEBPMを全庁的に推進する上での〈知識〉に関する研究
		○ディーガン美佐子 (しがローカルSDGs研究会)、鵜飼修 (滋賀県立大学)	永井琉太 (大和大学社会学部B4)、○立花 晃 (大和大学社会学部准教授)	○中川曉敬 (長久手市)	○塚本健太 (一橋大学大学院M2)、毛塚泰樹 (一橋大学大学院D1)、菊池隆聖 (一橋大学大学院M1)、佐藤真陽 (一橋大学大学院M1)、木村剛瑠 (清水建設株式会社)、伊藤将人 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)、堂免隆浩 (一橋大学)
2	計画理論とグローバルサウス問題	エネルギー貧困政策についてのヨーロッパの動向と日本における課題-世界気候エネルギー-首長誓約の事例より-	国際比較の視点から日本スタートアップエコシステムへの再認識および政策提言	コミュニティガーデンにおける自治能力の醸成-アクター間の関係からの考察-	地方自治体はEBPM推進をどう認識しているのか-静岡県裾野市を事例として-
		○杉山範子 (名古屋大学)、中山典子 (名古屋大学)	○方従友 (徳島文理大学大学院総合政策学専攻M2)、松村豊大 (徳島文理大学)	○菊池隆聖 (一橋大学大学院M1)	○小杉亮太 (一橋大学大学院M2)、毛塚泰樹 (一橋大学大学院D1)、黒部真由 (一橋大学大学院M1)、高橋健太郎 (一橋大学大学院D2)、正村知穂 (一橋大学大学院M1)、藤井優多 (一橋大学大学院M2)、伊藤将人 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)、堂免隆浩 (一橋大学)
3	○山本佳世子 (電気通信大学)、森下英治 (愛知学院大学)、小野悠 (豊橋技術科学大学)、松久知美 (国際協力機構 (JICA) / 電気通信大学)、安西亮 (電気通信大学)		産学官連携事業による交流拠点の形成と地域教育に関する考察~ガンダムR作戦工口プラ講座イベントを事例に~	近隣住民による公園利用に対する容認-東京都世田谷区民を対象とした調査を中心として-	地方自治体におけるEBPMの推進実態とその推進要因に関する研究
			○福田美紀 (大和大学社会学部)、立花晃 (大和大学社会学部) 岡田広示 (大和大学社会学部)	○堂免隆浩 (一橋大学)、朴堯星 (統計数理研究所)	○高橋慧 (筑波大学大学院M1)、川島宏一 (筑波大学)

注1: ○は報告者, 下線は優秀発表賞候補者。

注2: 時間管理は以下のとおり。

・研究報告: 30分 (報告: 15分 質疑応答: 12分 交代: 3分)
 ・ワークショップ: 90分 (時間配分はファシリテーターが管理)

セッションⅢ（研究報告／ワークショップ）

【第2日目】2024年9月7日（土）13：00～14：30

ワークショップ L401	環境・交通 L408	産業 L409	まちづくりと自治 L410	エビデンスと計画行政 L411	
ファシリテーター： 畑正夫（神戸国際大学）	座長： 柴田裕希（東邦大学） 朴堯星（統計数理研究所）	座長： 森重昌之（阪南大学） 森杉雅史（名城大学）	座長： 堂免隆浩（一橋大学） 原田峻平（名古屋市立大学）	座長： 山本佳世子（電気通信大学）	
1	住民参加型バイオガス発電事業を想定した地域清掃活動への住民参加率の推計とその要因分析	市民と長期滞在者の交流から地域社会への関心を生み出す可能性—北海道釧路市と沖縄県名護市の比較分析—	自治基本条例の制定状況に関する調査結果	RCTによる活用事例の体系化と都市整備事業の適用可能性—J-PAL登録事業の分析および葉山町における社会実験の事例検証を通じて—	
2	デジタル社会のパブリックコミュニケーションの深化が計画理論と実践にもたらす影響の検討	○藤田衛（名城大学大学院D3）、大野栄治（名城大学）、森龍太（名城大学）、杉浦伸（名城大学）、森杉雅史	○森重昌之（阪南大学）	○竹内彩乃（東邦大学）、平田幸輝（東邦大学）	○徳永達己（拓殖大学）、大前正嗣（葉山町）、神田梨那（フィリピン大学ロスバニョス校大学院M1）
3	「連携」と「共創」の再構築～地域公共交通政策における共創と競争の両立を目指した制度の構想～	勾配アースティング決定木を用いた地方自治体のふるさと納税事業における寄付促進要因の検討	これからの地域づくりに向けた「計画」と「参加」のつながり方に関する一考察～愛知県長久手市の都市計画マスタープラン他を事例に	VUCA時代における地方自治体の不確実性行政をめぐるエビデンスの「ゆらぎ」への対応のあり方	
3	○畑正夫（神戸国際大学）、村山史世（麻布大学）、長岡素彦（一般社団法人地域連携プラットフォーム）、石井雅章（神田外語大学）、滝口直樹（立教大学）、陣内雄次（宇都宮共和大学）	ライフサイクルからみた自動車の脱炭素実現の見通し	日本六古窯の若手作家における伝統の継承と革新への取り組みに関する比較考察～常滑モデルと丹波篠山モデルの比較考察から	中枢管理機能の立地分析—本社と行政機関の近接性分析—	
	○今西芳一（(株)公共計画研究所）、浜口和也（(株)公共計画研究所）、味水佑毅（流通経済大学）、根本敏則（敬愛大学）	○岸本樹（京都大学大学院D1）、大庭哲治（京都大学大学院）	○吉村輝彦（日本福祉大学）	○中山敬太（公益財団法人日本都市センター）	
		○立花晃（大和大学社会学部）	○菅原茉唯（宮城大学大学院M1）、中沢峻（宮城大学）、佐々木秀之（宮城大学）	○藤本典嗣（大阪経済大学）	

注1：○は報告者，下線は優秀発表賞候補者。

注2：時間管理は以下のとおり。

- ・研究報告：30分（報告：15分 質疑応答：12分 交代：3分）
- ・ワークショップ：90分（時間配分はファシリテーターが管理）

4階平面図

